

CONTENTS

● 2005楽器フェア開催	1	● NMRC(ネットワーク音楽著作権連絡協議会)とAMEIの関わり	6
● 楽器フェア AMEIブース	2・3・4	● NAMMツアー案内	7
● 楽器フェアを終えて/運営事務局	5	● AMEI会員名簿 MIDI検定2級2次試験案内	8

2005楽器フェア開催

**AMEI
ブース速報**



楽器フェア会場入口

2005楽器フェアが、平成17年11月3日(木)から6日(日)までの4日間にわたりパシフィコ横浜で開催された。楽器・音楽関連の242社が出展した2年に1度の楽器の祭典は、4日間延べ88,950人の入場者で大いに賑わった。

AMEIブースとして10小間分のスペース(20m×6m)を確保し、「MIDI & AUDIO SOLUTIONS」というテーマを掲げて、11社とAMEIそれぞれの展示コーナー、およびデモ・ステージ(6m×4.5m 客席含む)を設け、デジタル音楽雑誌「DiGiRECO」を無料配布するなどして、デジタル音楽分野におけるAMEIの活動をアピールした。

特にデモ・ステージでは、DAW(Digital Audio Workstation)を中心とした製品デモや、ゲストを迎えてのトークあるいは実演のプログラムが連日組まれ、多数の来場を得た。



AMEIブース



2005楽器フェア AMEIブース

MIDI & AUDIO SOLUTIONS

MIDI & AUDIO
SOLUTIONS<http://www.midiandaudiosolutions.jp><http://www.midiandaudiosolutions.jp><http://www.midiandaudiosolutions.jp>

AMEIブース概要

提 供：社団法人 音楽電子事業協会

出展会社：11社およびAMEI

場 所：E-4(会場中央 Eブロック)、10小間(6m×20m)

内 容：●MIDIやAUDIOに関連した企業の出展により、音楽制作・音楽表現の最先端の現状を、展示ブースおよびデモ・ステージにおいて広く紹介した。写真1, 2

- 音楽業界の様々なジャンルで活躍中のミュージシャン4人を日替わりでスペシャルゲストとして迎え、音楽制作のホットな現状をデモ・ステージにおいてトークとライブで紹介した。

スペシャルゲストのトークライブ

11月3日 (祝・木)	安西史孝氏 (シンセサイザー/作編曲家)
11月4日 (金)	DJ YAMAMI (DJ/トラック制作)
11月5日 (土)	YUKI氏 (rice/ボーカリスト)
11月6日 (日)	SHARA氏 (EARTHSHAKER/ギタリスト)

総合司会 タチクラミ氏

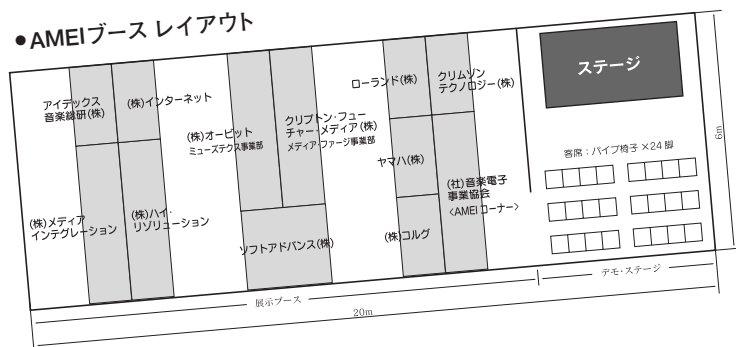
- AMEIコーナーにおいては「MIDIで着メロを作ろう」と題し、MIDIファイルやWAVEファイルを携帯電話用ファイルに変換するツールを紹介して電子音楽と携帯電話との親和性をアピールした。写真3 また、主要なMIDI規格とAMEIの委員会・部会活動を掲示してAMEIの事業を紹介した。写真4, 5

- 音楽雑誌「DiGiRECO Vol.54」(ミュージックネットワーク発行)およびパンフレット「コンピュータ&MIDIで広がるミュージックワールド」(AMEI発行)を会場で無料配布し、音楽制作の面白さを来場者にアピールした。写真6, 7

委託運営 株式会社ミュージックネットワーク



●AMEIブースレイアウト



出展内容

アイデックス音楽総研株式会社

アトリアの最新物理音源モデル"BRASS"を始め、各種ヴィンテージ・シンセサイザーを再現したソフトウェア・シンセサイザーのラインアップを展示。

株式会社オービット ミューステックス事業部

MOTUの"Digital Performer 4.8"およびComponentsによるミュージック・ワークステーションシステムを展示。

株式会社インターネット

本格的DAWソフトの最上位モデル"Singer Song Writer 8.0VS"を中心に、高品質なVSTインストゥルメントとして定評のあるLinPlug社の製品などを展示。

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 メディア・ファージ事業部

大容量オーケストラ音源、各種ソフト音源/ソフトシンセ、Vocaloidなど「歌うソフト音源/シンセ」、最新HipHop〜R&B系/トランス・ライブラリ、映像コンテンツ制作用ライブラリ等の展示。

クリムゾンテクノロジー株式会社

技術開発・ライセンス事業、コンテンツ原版提供・企画サービス事業、コンテンツ制作事業等の展示。

株式会社コルグ

コルグの路線をソフトウェア化した"KORG Legacy Collection"シリーズとMIDIコントローラ"KONTROL"シリーズの展示。

ソフトアドバンス株式会社

ミュージックシーンと映像の統合をテーマに、ステージ演出やプロモーションビデオ作成ツールの紹介とデモを実施。

株式会社ハイ・リゾリューション

最先端のミュージックツール"Ableton Live 5"を中心に、各種ソフトウェア・インストゥルメント、その他の製品を展示。

株式会社メディアインテグレーション

オーケストラ音源"Miroslav Philharmonik"を始めとして、ピアノ音源、ドラム音源、グループ・マシンなど最新のバーチャル・インストゥルメントを展示。

ヤマハ株式会社

"Studio Connections"のパネル展示、その他。

ローランド株式会社

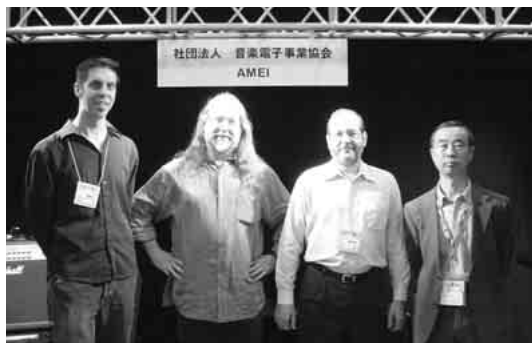
最新鋭のボーカル・プロセッサV-VocalをビルトインしたDAWソフト"Cakewalk SONAR 5"を始め、オーディオ・インターフェースなど様々な音楽制作ツールを展示。

社団法人音楽電子事業協会 (AMEIコーナー)

MIDIファイルやWAVEファイルを携帯電話用ファイルに変換するツールを展示・デモするほか、主要なMIDI規格やAMEIの委員会・部会活動をパネルで紹介。



トピックス1



MMAゲスト

2005楽器フェアの会期中に、米国MMA (MIDI Manufacturers Association) からのお客さまがAMEIブースに来訪されました。MMAのMIDIに関する新提案についてAMEIとの会合が予定されているため、空き時間を利用して見学に来られたものです。

向かって左から：Rob Rampley氏 (Line 6)、Chris Grigg氏 (Beatnik)、Tom White氏 (MMA会長)、平野専務理事 (AMEI)

トピックス2

AMEIブースの企画スタッフを交えて

向かって左から：平野専務理事 (AMEI)、玉城委員長 (AMEI事業委員会)、SHARA氏 (スペシャルゲスト)、三谷運営委員長 (ミュージックネットワーク)、総合司会タチクラミ氏 (AMEIデモ・ステージ)

注：アンダーラインが企画スタッフ



企画スタッフ

トピックス3

全国楽器協会大会 | 2005楽器フェア

合同懇親パーティー

2005楽器フェア初日の11月3日(木)午後6:30より、全国楽器協会と楽器フェア協会の合同懇親パーティーが、会場に隣接した会議センターにおいて開催されました。全国楽器協会大会は楽器フェアと同じく2年に1度、楽器フェアの初日に開催される全国楽器協会の総会で、当日の午後も同協会の下部組織である全国楽器製造協会、全国楽器卸商組合連合会、全国楽器小売商組合連合会の三団体が一同に集まって開催されたものです。全国楽器協会は楽器フェア(主催：日本楽器フェア協会)の後援団体であり、この日の合同懇親パーティーは両協会の共催により開催されました。

パーティーは、全国楽器協会の伊藤修二会長(ヤマハ株式会社)の挨拶から始まり、乾杯を経て、慶応義塾大学のライト・ミュージック・ソサエティによるビッグバンド演奏を交え、盛大に行われました。



全国楽器協会・伊藤修二会長の挨拶



パーティ風景



慶応義塾大学ライト・ミュージック・ソサエティによる演奏

「2005楽器フェア」AMEIブースの運営を終えて

AMEIブース運営事務局長：(株)ミュージックネットワーク 三谷佳之



初日のゲストは作曲家の安西史孝氏。シンセサイザーの価格が目ん玉が飛び出るほど高かった時代からのシンセマニア。放送禁止な危ないトークで会場はもちろん、スタッフも大笑い。でも、内容はとってもタメになるお話なのでした。



2日目はDJ YAMAMI氏とViviのカリスマ読者モデルの田中みゆきちゃん。トランス系のトラックをどういう風に制作しているかをお話いただきました。事前の話ではみゆきちゃんは水着で歌う…と聞いていたので、チト肩透かし(笑)。

3日目はriceのYUKI氏。ロックバンドのボーカリストながら、実はデジパフォを使って音楽を作る人。普段は絶対に見られないその作曲工程をやさしく解説。この意外な感じはこちらの狙い通り。同じソフトを買いたいというファンも…。



撮影禁止の張り紙が物々しい中、最後にオケをバックに1曲歌ってもらった。会場に集まった若い女性(ほぼ全員が女性)はうっとり+溜息。「こんなに近くでファンと触れ合えて嬉しいです」とのYUKI氏の談にホッとする。



YUKI氏のトーク&ライブの終了後も集まったファンはほとんど帰らず、急遽、サイン+握手会になってしまった。最後のひとりまで名前を聞き、サインをし、握手をするYUKI氏。通路を独占してしまっただけで申し訳ない>周囲の出展者様

今年のAMEIブースはRolandとKORGに挟まれた広い通路に面した良好な立地条件でした。4日間を通して通行客も多く、デモ実演で集客するには適した場所でした。AMEIブースは全体で10小間の展開をし、うち6小間を12社の展示スペースに当て、残りの4小間をステージとしました。ブース全体として「MIDI & AUDIO SOLUTIONS」というテーマを掲げて、DAW(Digital Audio Workstation) 機器から携帯電話、果てはVJソフトウェアまで幅広い内容で展開できたと思います。ただ、細かい話をすれば反省点は数知れず、ここで仔細に披露することは致しませんが、次回までにクリアすべき課題として内省しておきます。

ひとつだけ大きな課題として感じたことは、AMEIブースのあり方です。今回のようにソフトメーカーを中心とした各出展者の長屋形式でよいのか、またはブース全体として来場者にトータルで何かを伝えるべきなのか…。前者は個々の会社の寄せ集め出展ですので、ブース全体が「ミニ楽器フェア会場」の様相になります。後者の場合は個々の会社でブースを区切る必要はありません。テーマごとに展示を考え、その中に協力会社=出展企業の商品展示が存在するというものです。デモ実演にも同様のことが言えると思います。個々に出るか、全体で出るか、はたまた両方か…これが次回の課題かもしれません。予算も絡む問題ですので簡単に答えは出ませんが、魅力あるブース作りには欠かせないテーマだと思います。



最終日のゲストはEARTHSHAKERのSHARA氏。ライブが始まる前から周囲はお客様で一杯になる。う〜む、さすがである。ちょっとサウンドチェックをしただけで、事務局から「音量を下げてください」のプラカードが…よ〜くご存知で。



意外にもハードロック系ギタリストのSHARA氏はProToolsを使って作曲をしています。自宅のパソコン画面の写真を披露しつつ、作曲工程を説明する姿はやはり意外であり、狙い通りでもある。今後はギタリストとDAWの時代が来るだろう。



予想通り、演奏が始まるとまるでライブハウス状態になる。AMEIの看板とのミスマッチが面白い。大きな音量で周囲のブースには迷惑をお掛けしました(ペコリ)。最初に演奏は最後の5分間だけですから…と断っておけばよかった？



別会場でのライブを終えて、ANIMETALのMASAKI氏(B.)が立ち寄ってくれたので4人で記念撮影。みんなキャラが濃〜いです。



AMEIブースの運営スタッフが勢揃い。右は学校関係者、左は新宿2丁目のバーのママと用心棒のように見える。4日間お疲れ様っ。

NMRC(ネットワーク音楽著作権連絡協議会)とAMEIの関わり

著作権・ソフト委員会 副委員長 戸叶 司武郎

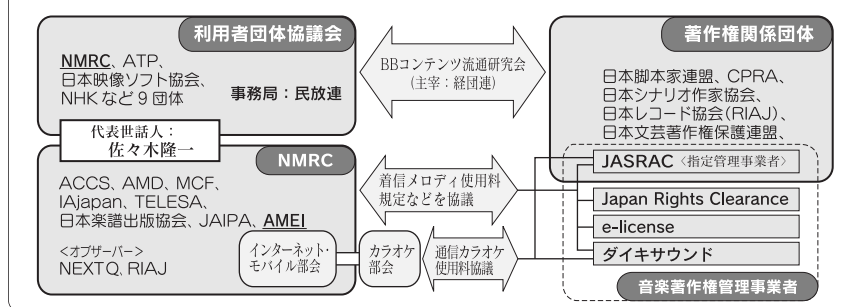
AMEIが関わる著作権関連活動は幅広く、CCD(デジタル時代の著作権協議会)への参加、AMCP(音楽関連モバイルコンテンツ事業者協議会)、NeDIC(次世代デジタルコンテンツ配信フォーラム)との連携など、会員の企業活動のさらなる発展を目指し多方面に展開しています。中でも特にNMRCはネット配信に関わる音楽著作権の様々な問題をJASRAC等と8年にわたり協議を続けており、着メロの著作物使用料率など今までの大きなテーマはAMEI著作権・ソフト委員会の支援によって解決されてきました。これは新しい音楽電子サービスの創造を目指すAMEIの総合的な活動の成果といっても過言ではありません。

NMRC 設立の経緯

NMRC(Network Music Rights Conference)は、インターネットを含むネットワーク上での音楽利用のための許諾ルール制定に向けた情報収集、研究及び関係諸団体間の合意形成を目的として、平成9(1997)年8月末に発足しました。現在もAMEIを中心に、モバイル事業関連のMCF(モバイル・コンテンツ・フォーラム)、ゲームコンテンツ関連のACCS(コンピュータソフトウェア著作権協会)など8団体とオブザーバー2団体の、計10団体で構成されています。NMRCは著作権等管理事業法における日本初の利用者代表(指定使用者団体)としてJASRACなど音楽著作権管理事業者との使用料協議において強力な交渉力を保持していますが、AMEIからは代表世話人(佐々木氏/著作権・ソフト委員長)と副代表世話人(袴氏/同副委員長)が選出されています。また、経団連主宰のブロードバンド(BB)コンテンツ流通研究会においても佐々木氏が利用者団体協議会の代表世話人として著作権関連団体との協議を重ね、ドラマなどをBBストリーム配信する際の著作物の暫定使用料率が決定しました(2005年3月)。AMEIが著作権管理団体等との協議の長い歴史の中で培ってきた信頼関係が、NMRCを通じて日本のコンテンツ流通の新しい著作権ルール作りに大きな貢献をしていると言えます。

NMRC : <http://www.nmrc.jp/>

AMEI-NMRCと権利者との協議構造



主な業務と AMEIとの関わり

NMRCの本質的な業務は、会員企業のビジネス発展の為に音楽著作物使用料規程が最適でありかつ権利ホルダも充分なメリットが得られるように、JASRACなど管理事業者と協議することです。この機能はNMRC発足以前から業務用カラオケの著作物使用料についてAMEIカラオケ部会が担っていましたが、AMEI会員以外の着メロコンテンツプロバイダ(CP)とも連携する為にNMRCが発足しました。傘下8団体に所属する会員企業数の合計は1200社を超えており、NMRCの協議結果は国内のコンテンツ市場にきわめて大きな影響力を持っています。また2005年3月に立ち上げた実務ワーキンググループではリーダー千葉氏(著作権・ソフト委員会委員)のもと、使用料規程の実務への運用解釈、膨大な実績報告作業の効率向上やシステム化に向けて管理事業者各社と緻密な議論を交わしています。

当面の重点テーマと今後の課題

モバイル技術やネットワークの進化と共に誕生する新サービスに連れて会員企業の活動範囲は拡大し、NMRCが取り組むテーマも増え続けています。動画コンテンツや有期限音楽配信の使用料率、ストリーム使用料の按分ルールなどが当面のテーマですが、進化するビジネスに円滑に対応できるよう、管理事業者各社の作った使用料規程の抜本的な見直し提案が今後の重要テーマとなるでしょう。また韓国人作品問題や使用料返金問題に纏わるJASRACの管理責任の定義など、著作権等管理事業法の根本に関わる点にも取り組んでいかなければなりません。NMRCを支える事務局や世話人の負担も増大してきており、協議テーマと併せて次のステージに移る時期が近づいてきております。これからの皆様のより一層のご支援ご協力を宜しく申し上げます。

携帯電話への音楽データ配信実績

年度	徴収額 (単位: 億円)			ダウンロード数 (単位: 億回)			サイト数 (単位: 1サイト)			
	着メロ	着ウタ	音楽配信	着メロ	着ウタ	音楽配信	着メロ	着ウタ	着ムービー	左記以外の音楽配信
1999年度	3		0.3	0.6		0.04				
2000年度	12		0.7	2.5		0.1				
2001年度	36		8	7.5		1				
2002年度	73		2	15		0.3	1,253			396
2003年度	75	2	3	15	0.2	0.4	1,861	514	83	537
2004年度	78	8	3	16	1	0.4	2,479	1,072	296	810
2005年度上記	32	8.5	1.9	6.4	1.1	0.2				

※数字はJASRAC提供。空欄はビジネス立ち上がり前か徴収開始前、または調査未着手。

第9回 AMEI NAMM2006 ビジネスツアー会員募集要項

MIDI規格委員会では、今年もMMA Meeting / NAMMビジネスツアーの参加者募集を下記の通り実施いたします。このビジネスツアーでは、日頃の委員会活動を、米国MMA (MIDI Manufacturers Association) メンバーと電子メール等で行っていますが、MMAメンバーも一同に会するこのNAMM期間中に現地にてAMEI/MMA会合を開催し、相互コミュニケーションを図り、理解を深めることを目的としています。

この会合に参加希望されない会員様には、NAMM2006の視察また全日自由行動となっているので、現地での商談などに、このツアーの利用をお勧めいたします。最新の製品、情報に触れることのできるこの機会をぜひお見逃しなく！

また、今回、2003年完成の「ウォルトディズニー・コンサートホール」の館内バックヤードをツアー初日に現地視察コーディネーターがご案内致します。



催行期間：2006年1月18日(水)～1月24日(火) 5泊7日

旅行費用：基本旅行代金：169,000円

(一人部屋追加代金：70,000円)

利用予定航空会社：日本航空

利用予定ホテル：アナハイム・シェラトンホテル(ホテル～NAMM会場間シャトルバス運行)

最少催行人員：10名

申込締切：2005年12月15日(木) ※以降空況確認の上ご対応いたします。

日程	地名	現地時間	交通機関	予定	食事
1月18日 (水)	成田発 ロサンゼルス着	17:05 09:45	JL062 専用車	空路、ロサンゼルスへ(直行便利用) 着後専用車にて 「ウォルトディズニーコンサートホール 館内バックヤード音響視察」へ ＜アナハイム泊＞	機 ×
1月19日 (木)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Unofficial-Meeting (NAMM2006視察) ＜アナハイム泊＞	×
1月20日 (金)	アナハイム滞在			(NAMM2006視察) ＜アナハイム泊＞	×
1月21日 (土)	アナハイム滞在			AMEI/MMA Official-Meeting (NAMM2006視察) ＜アナハイム泊＞	×
1月22日 (日)	アナハイム滞在			MMA総会参加 (NAMM2006視察最終日) ＜アナハイム泊＞	×
1月23日 (月)	ロサンゼルス発	朝 11:35	専用車 JL061	専用車にて空港へ 空路、帰国の途へ(直行便) ＜機中泊＞	×
1月24日 (火)	成田着	16:25		着後、解散 ～お疲れ様でした～	機

「ウォルトディズニーコンサートホール」 館内バックヤード視察 (1/18実施予定)

2003年にダウンタウンに完成した座席数2265席を誇るコンサートホール。音響設計は日本人で(株)永田音響設計の豊田氏。館内のバックヤードを現地日本人視察コーディネーターが音響設備を中心にご案内致します。(所要約1時間)



Photo : Tim Street-Porter

※この期間は見本市開催のためホテル事情は極めて厳しい状況となっておりますので、お早めのお申込をおすすめ致します。

特に今年度につきましては、例年よりも大変ホテルが混雑しております。締切日以降のホテル手配は極めて困難となりますので、締切日までにお申込いただきますようお願い申し上げます。

日程変更・別手配、通訳の手配などトータルでアレンジさせていただきますので、ご希望の方はお問合せください。

費用に含まれるもの

- ① 日程表に記載した航空運賃エコノミークラス運賃
- ② 日程表に記載された団体行動中の乗物料金
- ③ 宿泊代金：ツインルームに2名様ずつの宿泊を基準とします。
(バス・トイレ付)
- ④ ウォルトディズニーコンサートホール館内視察費用
- ⑤ 手荷物運搬料金：運搬機関の規定内手荷物料金
- ⑥ 団体行動中のチップ・税金
- ⑦ 成田空港施設使用料・現地空港税・航空保安料

費用に含まれないもの (上記に記載のないものは旅行代金に含まれません。その主なものを例示します。)

- ① お1人様部屋利用追加代金 (¥70,000-)
- ② 航空機ビジネスクラス利用の場合の追加料金 (別途ご案内)
- ③ 個人的性格の諸費用 (電話代、クリーニング代、飲物費等)
- ④ 渡航手続き諸費用・出入国カード等費用
- ⑤ 超過手荷物運搬料金
- ⑥ 現地宿泊ホテル～NAMM会場間の交通費
- ⑦ 現地オプションツアー代金 (別途料金の小旅行)
- ⑧ 任意の海外旅行傷害保険料 (希望者のみ)
- ⑨ 燃油サーチャージ (往復¥10,000- 2005年10月現在)
- ⑩ NAMM登録諸費用

旅行企画：(社)音楽電子事業協会MIDI規格委員会

旅行実施：50 近畿日本ツーリスト 新宿法人旅行支店

国土交通大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員 旅行業公正取引会員

資料請求

社団法人音楽電子事業協会事務局まで
TEL : 03-5226-8550 FAX : 03-5226-8549
E-mail : webmaster@amei.or.jp

会員名簿

50音順 2005年6月30日現在

あ	島村楽器株式会社	株式会社フットレック
アイデックス音楽総研株式会社	株式会社JEUGIA	ほ
アカイプロフェッショナルエムアイ株式会社	学校法人 尚美学園	ボーダフォン株式会社
株式会社アコースティック	す	ま
アップルコンピュータ株式会社	株式会社ズーム	松下電器産業株式会社
い	株式会社鈴木楽器製作所	み
株式会社インターネット	せ	三木楽器株式会社
インフォコム株式会社	セイコーインスツルメンツ株式会社	三井物産株式会社
え	株式会社セガ	有限会社ミュージカルプラン
株式会社エクシング	株式会社セガ・ミュージック・ネットワークス	株式会社ミュージック・ドット・ジェイピー
NECエレクトロニクス株式会社	そ	株式会社ミュージックネットワーク
NTTコミュニケーションズ株式会社	ソニー株式会社	ミュージックノート株式会社
株式会社エフォート	た	め
株式会社エムゾーン	株式会社第一興商	株式会社メロディーズ アンド メモリーズ グローバル
株式会社エンターブレイン	株式会社タイトー	や
お	株式会社タムラ製作所	ヤマハ株式会社
沖電気工業株式会社	て	財団法人ヤマハ音楽振興会
株式会社音響総合研究所	ティアック株式会社	ヤマハミュージックトレーディング株式会社
か	と	株式会社ヤマハミュージックメディア
カシオ計算機株式会社	東映ビデオ株式会社	ら
カモンミュージック株式会社	株式会社ドワンゴ	株式会社ラグナヒルズ
株式会社河合楽器製作所	に	り
き	ニフティ株式会社	株式会社リットーミュージック
株式会社キューブ	学校法人片柳学園 日本工学院専門学校	株式会社リムショット
く	日本シンセサイザープログラマー協会	ろ
株式会社グリオ	学校法人電子学園 日本電子専門学校	ローム株式会社
クリムゾンテクノロジー株式会社	の	ローランド株式会社
け	ノキア・ジャパン株式会社	わ
KDDI株式会社	は	株式会社ワキタ
こ	株式会社ハドソン	〈以上、正会員会社76社〉
株式会社コルグ	パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社	
株式会社コンボジット	び	*賛助会員 (3社)
さ	株式会社BMB	中音公司 (中華人民共和国)
株式会社サイバード	株式会社ビクターネットワークス	株式会社博秀工芸
株式会社サミーネットワークス	ビクターレジャーシステム株式会社	株式会社ミュージックトレード社
株式会社三菱ギガネットワークスカンパニー	ふ	
し	株式会社フェイス	
株式会社CTA	株式会社フォーサイド・ドット・コム	
株式会社シーミュージック	フォスター電気株式会社 フォステクスカンパニー	

MIDI検定2級2次実技試験実施のお知らせ

第7回2級2次実技試験は次の3会場で実施されます

- 東京会場：Windows使用会場 FORUM 8 (新大塚ビル1号館 777号)
平成18年2月11日(土)、12日(日)、13日(月)
Mac使用会場 アップルコンピュータ株式会社 トレーニングルーム
平成18年2月25日(土)、26日(日)
- 大阪会場：Windows & Mac使用会場 マイドームおおさか 8F第一 & 第二研修室
平成18年2月18日(土)、19日(日)

主 催：社団法人 音楽電子事業協会 協 力：日本シンセサイザー・プログラマー協会
後 催：(会場、機材、ソフト等の協力)アップルコンピュータ(株)、(株)インターネット、(株)オービット・ミューズテクス事業部、
カモンミュージック(株)、ローランド(株)、ヤマハ(株)、(株)メディア、(株)カメオ インタラクティブ

AMEI NEWS Vol.28 / 2005.12.15
社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発 行：社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：平野勝彦
編集人：福田 誠 (広報委員会)
編集協力：株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>